

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品及び車両運搬具・・・定率法によっている

ソフトウェア・・・定額法によっている

(3) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
受贈基本財産積立資産	200,000,000	0	0	200,000,000
償却原価法による受取利息	986,584	121,987	0	1,108,571
合 計	200,986,584	121,987	0	201,108,571

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
受贈基本財産積立資産	200,000,000	(200,000,000)	(0)	(-)
償却原価法による受取利息	1,108,571	(1,108,571)	(0)	(-)
合 計	201,108,571	(201,108,571)	(0)	(-)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,183,329	1,183,328	1
什器備品	3,851,480	1,983,416	1,868,064
ソフトウェア	5,706,720	1,807,128	3,899,592
合 計	10,741,529	4,973,872	5,767,657

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金	熊谷市	0	9,929,736	9,929,736	0	—
補助金	深谷市	0	6,569,676	6,569,676	0	—
補助金	寄居町	0	1,500,588	1,500,588	0	—
交付金	熊谷市	0	3,976,424	3,976,424	0	—
交付金	深谷市	0	4,004,854	4,004,854	0	—
合 計		0	25,981,278	25,981,278	0	

6. 実施事業資産

公益目的支出計画に基づく実施事業資産は保有していない。